

315号

2022年
9月

日赤みやぎ



～みんなで学ぼう心肺蘇生・AED講習～

8月5日(金)、イオンモール新利府南館1階ライブスクエアで一次救命処置(心肺蘇生・AEDの使用方法等)の体験・クイズ、講習パネルの展示を行いました。会場では基本的感染対策はもちろんのこと、パーテーションを設置して距離を保ち、時間制限(1回15分上限)を設けるなど感染予防対策に努めながら実施しました。制限のある中での実施でしたが、子どもから大人まで多くの方々が興味深く体験してくださいました。参加者からは「救急車が止まっている場面を何度か見かけたことがあります。もしものときどうすれば命を救えるかを学ぶことができ、ためになりました。」という声も聞かれ、好評でした。

自分や家族の思いを託すという選択肢

9月13日は国際遺贈寄付の日

近年、「自分の死後、財産の一部を赤十字に寄付したい」「故人の思いを社会に役立ててほしい」というご相談やお申し出をいただいております。

このようなご意思に応え、社会貢献に活かす方法として、今回、遺贈・相続財産等のご寄付をご紹介します。



遺贈 遺言によって財産の全部または一部を団体などの第三者に与えること

赤十字への寄付の流れ

ご生前

- 遺贈と遺言執行者の決定
- 遺言書の作成

遺言書の内容により、遺産の受取人やその内容を指定することができます。この方法により、財産の一部の受取人として日赤を指定することができます。専門家へのご相談が安心です！

ご逝去後

- 遺言執行者が日赤へご寄付（遺言執行）
- 受領証発行

遺言執行者が遺言書に基づき手続きを行い、日赤にご寄付いただきます。ご寄付は、赤十字の人道支援活動のために大切にさせていただきます。

寄贈いただいた財産には相続税がかかりません



相続財産寄付 相続により取得した財産の全部または一部を寄付すること

赤十字への寄付の流れ

「相続財産の寄付」と日赤に連絡

日赤へご寄付

受領証および相続財産の寄付に関する証明書を送付

ご遺族の方が相続された財産を相続税の申告期限内（相続があったことを知った日の翌日から10か月以内）にご寄付いただきます。

寄贈いただいた財産には相続税がかかりません



身近なところから世界まで。

あなたの支援が赤十字の人的活動を支えています

寄付によって世界中の紛争や病気で苦しむ人々を救うことができます



▲ウクライナ・ウジュホロドで衛生キットを配布する赤十字スタッフ (C)IFRC Marco Kokik



▲学生に救急法基礎講習会を実施(宮城県支部)

救急法を学ぶことで大切な人のいのちや健康を守ることができます

子どもたちが防災を学ぶことでコミュニティを強固にし身近な人を守る力が強まります



▲オンラインで震災の記憶や教訓を配信(宮城県支部)



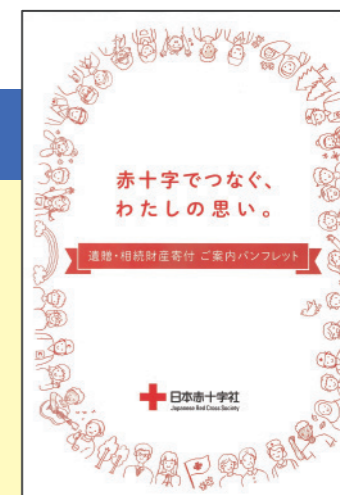
▲災害時には赤十字ボランティアと救援物資を被災地へ届けます(宮城県支部)

災害などで苦しむ人のいのちと健康が守られます

ご寄付のメリット

- 日赤が行う災害救護や防災教育、国際救援など苦しんでいる人びとを救う活動に活用されます
- 相続人のいない方の財産は国庫に帰属しますが、社会貢献としてカタチにできます
- 寄贈いただいた財産には相続税がかかりません。

ご相談・お問合せください！ 組織振興課 社員係 TEL:022-271-2252



宮城県支部のトピックス

● 水害からいのちを守る訓練に出動!

5月29日(日)、大崎市で2022年度北上川下流及び江合川・鳴瀬川総合水防演習が行われました。水防団による水防工法訓練、大規模な洪水を想定した国・県・流域自治体・関係機関が連携した総合防災訓練であり、宮城県では8年ぶりの開催となりました。日赤は、仙台赤十字病院から救護班1班を派遣し、救助された負傷者への応急救護訓練を行いました。当日は宮城県支部に登録している防災ボランティア2名も参加し、大崎市自主防災組織に対して一次救命処置のデモンストレーションを行いました。参加者からは「実際にAEDの使い方を知ることができ、とても勉強になった」という感想が聞かれました。また、同時に開催された防災展ではパネルや救護車両、救援物資の展示も行い、多くの方に赤十字の活動を知っていただくことができました。



▲訓練の様子

● 子どもたちもびっくり! 段ボールでベッド? (防災学習)

6月12日(日)、塩竈市立第二中学校にて防災学習を行いました。これは6月12日の「みやぎ県民の日」にあわせて行われた塩竈市総合防災訓練の一環で実施され、地域の防災を支える人材育成を図ることを目的としています。今回は2年生を対象として一次救命処置・段ボールベッドの組み立て・ホットタオル作りという3つのプログラムを行いました。参加した生徒からは「いざというときに対応できるようになりたい」、「段ボールでベッドが作れるなんて驚いた」といった声が聞かれました。日本赤十字社では、企業・団体様に向けた防災セミナーを開催し、地域の防災力の向上を目指しています。



▲段ボールベッドの組み立てに真剣に取り組む生徒たち

● 震災の記憶や教訓を追体験するオンラインイベントを開催!

JRCオンライン語り部LIVEは、語り部さんの生の声を全国のJRC加盟校(小学校～高等学校、校種別)にZOOMでLIVE配信し、東日本大震災の記憶や教訓を風化させずに次世代に継承する取り組みで、今年度も冬季に実施する予定です。この取り組みを多くの学校に知っていただくため、8月17日から18日にかけて、全国の加盟校の指導者(教員)を対象にプログラムを体験し、参加経験のある指導者の感想や事例紹介を聞いていただく機会を設けました。2日間で24名にご参加いただき、「語り部さんの被災体験を子どもたちに生で聞かせるのは防災学習に有効だと思いました。」「参加経験のある先生の取り組みは特に参考になりました。」等の感想をいただきました。今回の配信を踏まえ、冬の語り部LIVE企画を充実させてまいります。



▲菊池のどかさん(語り部)のお話に耳を傾ける中学校指導者(教員)たち

宮城県内施設のトピックス

仙台赤十字病院

当院の「ヒポクラテスの木」が育ちました

皆さんは「ヒポクラテス」をご存じでしょうか?彼は、紀元前に医学の礎を築いたとされる「医学の父」です。とあるプラタナスの木の木陰で彼は弟子に医学を教えたとされており、日本赤十字社創立100周年の際にヒポクラテスの故郷であるギリシャ赤十字社よりこの遺伝子を継承する木が日赤に寄贈され、挿木・株分けが行われました。当院にも昨年11月に移植され、今春には葉芽も育ち、しっかりと根付いたようでした。我々医療者や医学教育にとってシンボルとなる大切な木ですので、これからも大事にしていきたいと思えます。



▲日当たりのよい丘で、すくすくと育った当院のヒポクラテスの木

病院の仕事を体験!中学生の職場体験学習

石巻赤十字病院



▲模型を使っでの採血体験、真剣な表情で取り組んでいました。

7月12日(火)、当院にて看護師や薬剤師を志す中学生3名が職業体験学習を行いました。院内ツアーでは、ドクターカーや救命救急センター、屋上ヘリポートなど普段は立ち入ることのできない場所を見学。また、看護師の指導のもと点滴の組み方や模型を使っでの採血、薬剤部では粉薬や軟膏の調剤などを体験しました。最後には手術センターも見学し、テレビドラマでしか見たことのない光景に驚いている様子でした。体験を終えた生徒達からは、「採血体験が面白かった」、「病院薬剤師の仕事が知れて良かった」など、皆さんキラキラした表情で感想を述べてくれました。当院では、未来の医療人を育てる為に、今後も感染対策を実施したうえで体験学習や見学などの受け入れに協力していきます。

宮城県赤十字血液センター

雨の日献血キャンペーン @杜の都献血ルームAOBA

雨の日は外出を控える人が多いため、献血にお越しいただく方が少なくなります。特に平日の雨天時は足元が悪く、ご協力いただける方が大幅に少ない傾向にあり、医療機関へ供給する血液の確保に苦慮しています。天候に関わらず輸血を必要とする患者さんはたくさんいます。少しの勇気で誰かの命を救うことができますので、ご協力をお願いします。杜の都献血ルームAOBAでは、7月15日(金)より「雨の日献血キャンペーン」を実施しており、平日の雨の日に献血にご協力いただいた皆様には、もらって嬉しいプレゼントをご用意しております。雨の日は、ぶらっと献血に出かけませんか!

- 開始日: 7月15日(金)～
- 告知方法: 杜の都献血ルームAOBA公式Twitter
- 対象日: 平日限定・キャンペーンの告知が出ている雨の日
- 記念品: もらってうれしいノベルティ



平日限定 雨の日 献血キャンペーン

雨の日に、献血へご協力いただいた方へ記念品をプレゼントいたします。

記念品は時期により変わります。キャンペーンの実施にあたっては、当日9:30までに公式Twitterで発表します。杜の都献血ルームAOBA限定のイベントとなります。

ウクライナ人道危機への対応

ウクライナ人道危機に対し、世界の赤十字が協力し合い、ウクライナ避難民を支える活動を行っています。日赤では、ウクライナ人道危機救援金の受付をしているほか、現地に派遣された職員が救援物資や資機材の搬入等ニーズに応じた支援をしています。



救援物資の状態を確認する
日赤職員

(C) IFRC/Victor Lacken



ウクライナ・ウジュホロドにて
ボランティアによる物資配付
の様子

(C) Finnish Red Cross/Ville Palone



仮設診療所に届いた薬品を
運ぶ日赤の薬剤師

(C) IFRC/Anette Selmer-Andresen

日赤が受け付けている
ウクライナ人道危機救援金

支援金額 **50億円** (2022年8月5日時点)

※このうち計25億円は赤十字国際委員会を通じた支援です。

これからも赤十字がこの人道危機への支援を継続できるよう
皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。



お役立ち情報 **非常食かんたんレシピ**



*** アネちゃんの ***
かんたんごはん帳
Vol.25
袋で作るコーヒー寒天

アネ (牧野純子)
イラストレーター・FCAJ 認定フードコーディネーター
仙台市在住
赤十字救急法救急員 赤十字防災ボランティア
出版社、CM制作会社を経てフリーランスに。著書に
「アネちゃんのごはんいっぱい幸せ」(主婦と生活社)、
「夜にちよこっとココットごはん」(朝日新聞出版)がある。

*** 材料 (2~3人分)**

粉寒天…1包(4g)
缶コーヒーorカフェオレ…大1缶(375ml)
※またはペットボトル1本(450ml) または
インスタントコーヒー小さじ2+水400~450ml
※小さじ2はペットボトルの蓋で大盛り1杯程度

*** 作り方**

1. 鍋にたっぷりのお湯を沸かす。
2. 缶orペットボトルに粉寒天を入れ、蓋をしっかりと閉め、カー杯50回シェイクし寒天を溶かす。
3. 加熱OKのポリ袋に、2を入れ、空気を抜いて、袋の上の方で結ぶ。
4. 沸騰した1の鍋に3を入れ再沸騰後20分加熱。
※袋の中が均一になるように菜箸などで何度か裏返す
5. 取りだして固まるまでおく。
※40~50℃で固まり始めるので、取りだしたら
しっかりと固まるまでできるだけ触らないようにする
6. しっかりと固まったら冷蔵庫で冷やす。※平常時
7. 練乳やコーヒーミルクなどをかけていただく。



災害時に意外と役に立つのが粉寒天。場所をとらず長期保存ができ、食物繊維たっぷり、どんな食材とも相性がよく、煮溶かして作った寒天は常温で固まって使い勝手もよいので、非常食にオススメです。缶やペットボトルのコーヒー飲料やカフェオレはそのまま飲めば1人分ですが、寒天で固めるとたっぷり2~3人分の腹持ちのよいおやつに。缶やペット飲料がなければ、インスタントコーヒーと水でも作れます。その場合は、材料を袋に入れ、口をしっかりと結び、50回シェイクしてから加熱します。
上手に作るポイントは、大きめの鍋を使うこと、鍋底に蒸し台やザルを入れること(袋の破損防止のため)、菜箸等でやさしく袋を返し、寒天がきちんと煮溶けるようしっかりと加熱すること、取り出した触らずに固まるまで待つことです。

